

(様式 1 - 表)

令和6年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	44	豊田市立 市木小 学校	代表	本林 初代
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域ぐるみの教育を目指した学校づくり	分野	b	地域連携
	サブテーマ 地域の良さに気づき、地域とともに伸びゆく児童の育成を目指して	（その他）は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点（ねらい）	本校児童の「豊かな心」の育成を柱に、地域ぐるみの教育を目指していく。そのためには、学校と保護者や地域の方々との信頼関係を築き、相互の良好な関わりの中で、学校づくりを進めていくことが重要である。児童が地域の良さに気づき、心豊かに生活することができるように、次の3点を具現化する。 ①校内整備員を配置することで、より安全で学習しやすい環境を整える。 ②児童にとってよりよい「学びの場」が確保されることを目指し、地域学校共働本部と連携しながら、保護者ボランティア・祖父母の会・地域ボランティアと地域ぐるみの教育を進めていく。 ③学生ボランティアを有効活用することで、児童の心の安定と個別の支援の充実を図る。			
活動内容・計画	①校内整備員による活動を通し、児童が安心して安全に過ごせる学習環境を構築する。 ・樹木や花壇等の校内環境整備を通して、環境を整えることの大切さを意識付ける。 ・危険箇所の早期発見・早期対応を通して、児童の安全に対する意識を高める。 ②保護者や祖父母、地域から学校ボランティアや地域講師を募ることで、児童にとってよりよい学びの場を設定し、地域の方々とのつながりを深める。 ・花ボランティア、畑ボランティア、見守りボランティア、図書ボランティア、家庭科ボランティア、書道ボランティア、学習支援ボランティアを設定し、随時募集する。 ・1年生の昔遊びの学習等で地域講師の招聘や祖父母の方々との交流活動を行う。 ・読み聞かせボランティア「ひだまり」による読み聞かせ（月2回）を実施する。 ・各学年の教科指導に地域講師を招聘する。 ③学生ボランティアによる学校教育の活動支援を行う。			
補助員配置	・校内整備員（256時間）			
実績・期待される効果	①校内整備員を配置することにより、学校環境の大切さを学び、日常における清掃活動や奉仕活動に、より積極的に取り組もうとする意欲が高まる。 ②地域の方々に広くボランティアや講師を呼び掛け、児童とともに活動していただくことを通して、児童にとってよりよい学びの場が設定され、学習に意欲をもつことができる。 ③学生ボランティアによる支援により、心の安定を図ることができる。			
検証方法	・学校自己評価・保護者アンケートの数値、記述等から効果や改善点を検証する。 ・児童の授業の様子や感想、礼状等から、満足度や達成感を把握する。 ・地域学校共働本部やボランティアの方々の意見、学校運営協議会委員の助言等から、検証する。			